１９　教育資料委員会

一　テーマ

・小県上田教育会が所有している教育関係資料等を件名目録として整理し、データ化して保存する。
・それらの有効な活用方法を検討するとともに、公開の準備をしていく。

二　テーマ設定の理由

小県教育会には教科書を含む膨大な教育関係資料・史料が保存され、本委員会では長年教科書の保存・整理と活用を図ってきた。
令和３年からは、明治～大正に至る郡役所の書類など、貴重な史料の有効活用を図るため、件名目録をデータ化と公開への準備をし、会員の授業研究や次世代研究者の研究に活用できるようにしたいと考え、このテーマを設定している。

三　研究の経過

第１回	５月　１日（木）	令和７年度　委員会発足会と今年度の方向の決定
第２回	６月２４日（火）	今年度の活動方針に基づいた作業 ①
第３・４・５回	８月　５日（火）	今年度の活動方針に基づいた作業②・③・④ （上田市立第一中学校にて実施）
第６回	１０月　３日（金）	今年度の活動方針に基づいた作業⑤
第７回	１１月２５日（火）	今年度の活動のまとめと来年度の展望の話し合い

四　研究の内容

１　教育会館第２資料室所蔵の「学務雑件編冊」の件名目録を検索しやすい形に整える。
２　これまで保存されてきた過去のデータを統一した形式で保存・管理する。
３　データ化した資料を上小教育会事務室にて閲覧できるようにする。
４　授業に利用できる資料を発見できた場合は、早めに公開できるようにしていく。

五　研究のまとめと課題

成　果

・上記１・２は、目次が作成された年度のデータは Excel ファイルに入力が完了した。
①明治２８～３５年
②明治３５～４０年
③明治４０～４５年
④大正元年～　７年
⑤大正３年～４年
⑥大正５・６年のデータ化
⑦大正６・７・８・１０年のデータ化（昨年度までの成果）
⑧大正１１・１２年のデータ化（本年度の成果）

・上記 Excel ファイルは、印刷して冊子にし、事務局に保管した。データもすぐ利用できるように事務局 PC に保管してある。
・授業に利用できそうな史料を発見したが、公開・利用には史料周辺の調査が必要である。
・上記の活動を、教育会館で２回、夏休みの１日（半日　３回分）は上田市立第一中学校で実施した。（会館利用可能日と委員の都合の調整ができなかった）

課　題

・大正１２年以降の以後の整理されていない史料の目録を電子データ化するには、古文書を読める委員を増員したり、退職された古文書を読める会員にご協力をお願いしたりする必要がある。今後この点をどうするか、検討する必要がある。
・今年度、教育資料委員会としては、来年度以降、会館内の各種史料・資料をデータ化して、学習に学習・研究に使えるようにしたいと考えている。
来年度は、その中から第二資料室などの理科（地学関係）の資料・標本をデータ化することがよいのではないかと考えている。
・今年度の委員会活動は 1 時間×7 回で実施したが、夏休みに会館で活動できないのが、悩みである。

発見した史料紹介①

世界一週旅行　宇佐川政輝　講演二関スル件
宇佐川政輝氏は、明治生まれで、山口県立萩中学(現：萩高校)から東京帝国大学に進学。
大正 4 年春から 7 年夏まで 3 年 4 ヶ月の世界一周自転車旅行/ロシア、スマトラ、インド、エジプト、アフリカ、フランス、ハワイ等を巡りました。帰国後は日本各地で講演しており、上小地方でも講演会を行ったようで、講演会を開催したとの記録が残っていました。
上小地方での講演内容は不明ですが、インターネット上には、要旨を記した本の写真が載っているので、現代漢字かな遣いに直して紹介すると、当時日本人が世界でどのように見られていたのかが見えてきておもしろいと思います。

発見した史料紹介②

川に流された児童・生徒を助けようとして命を落とした先生と言えば、小菅訓導が有名ですが、神科村出身で、現在の埼玉県幸手市で命を落とした、養蚕教師の渡辺平和氏のことを記した史料がありました。現在でも幸手市の HP で紹介されているのは、興味深いものがあります。